

経 済 日 誌

(10 月 中)

- 1日 ○中国国家统计局, 9月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表
総合指数は50.4ポイントと前月(50.4ポイント)から横ばい, 2か月連続で製造業活動の拡大・縮小の分岐点である50ポイントを上回った
- 3日 ○日本銀行, 短観(概要, 2016年9月調査)を発表
大企業の業況判断DI(現状)は全産業12(前回調査12), 製造業6(前回調査6), 非製造業18(前回調査19)
○自販連, 9月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は, 47万6,771台で前年比△0.5%と2か月ぶりのマイナス
国内新車販売台数(除く軽)は, 31万7,048台で前年比+3.7%と2か月連続のプラス
○米供給管理協会, 9月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は51.5ポイントと前月(49.4ポイント)から上昇, 2か月ぶりに製造業活動の拡大・縮小の分岐点である50ポイントを上回った
- 7日 ○厚生労働省, 8月の毎月勤労統計(速報)を発表
現金給与総額は前年比△0.1%で3か月ぶりの減少(うち所定内給与は同+0.5%, うち所定外給与は同△1.9%, うち特別給与は同△7.7%)
○内閣府, 8月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は101.2(前月差+1.2ポイント)で2か月ぶりの上昇, 一致指数は112.0(前月差△0.1ポイント)で3か月ぶりの低下, 運行指数は113.4(前月差+0.3ポイント)で2か月ぶりの上昇, 基調判断は「足踏みを示している」とし前月から据置き
○米労働省, 9月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比15.6万人増, 過去2か月分は修正(8月分は16.7万人増(+1.6万人の上方修正), 7月分は25.2万人増(△2.3万人の下方修正))
失業率は5.0%と前月(4.9%)から上昇したものの, 依然低水準が継続
- 11日 ○財務省, 8月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は2兆8億円, 前年比+3,759億円(黒字幅拡大)で26か月連続の黒字
○東京商工リサーチ, 9月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は650件(前年比△3.4%)と2か月ぶりに前年比マイナス, 負債総額は853億円(同△68.5%), 倒産企業の従業員数は3,114人(同△9.0%), 上場企業倒産は0件
○内閣府, 9月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差△0.8ポイントの44.8と3か月ぶりに低下, 先行き判断DIは前月差+1.1ポイントの48.5と3か月連続の上昇
基調判断は「景気は, 持ち直しの動きがみられる」とし, 前月から据置き
- 12日 ○内閣府, 8月の機械受注統計を発表
民需(除く船舶・電力)は季調済前月比△2.2%と3か月ぶりの減少
基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし, 前月から据置き
- 13日 ○中国海関総署, 9月の貿易収支を発表
貿易収支は420億ドルと31か月連続の黒字, 輸出は1,845億ドルで前年比△10.0%と6か月連続のマイナス, 輸入は1,425億ドルで前年比△1.9%と2か月ぶりのマイナス
- 14日 ○日本銀行, 9月の企業物価指数(速報)を発表
前年比△3.2%となり, 18か月連続のマイナス
○日本銀行, 9月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+3.6%, M3は同+3.1%, 広義流動性は同+1.8%
○平成28年第16回経済財政諮問会議を開催
「経済社会・科学技術イノベーションの創造に向けた制度改革」, 「メリハリを効かせた歳出改革の推進」について議論
○米商務省, 9月の小売売上高を発表
総合は季調済前月比+0.6%, 8月は上方修正(△0.3%→△0.2%)
変動の大きい自動車・建築資材等を除くコアベースは同+0.5%
○中国国家统计局, 9月の消費者物価上昇率を発表
総合指数は前年比+1.9%で前月(+1.3%)から伸びが拡大
- 17日 ○米FRB, 9月の鉱工業生産を発表
生産は季調済前月比+0.1%で2か月ぶりに増加
- 18日 ○米労働省, 9月の消費者物価指数を発表
総合指数は前月比+0.3%, 前年比+1.5%, 食品とエネルギーを除いたコア指数は前月比+0.1%, 前年比+2.2%
- 19日 ○米商務省, 9月の住宅着工件数を発表
前月比△9.0%の季調済前年率104.7万件
○中国国家统计局, 2016年7-9月期のGDPを発表
実質GDP成長率は前年比+6.7%と前期(同+6.7%)から横ばい, 季調済前期比は+1.8%(前期は+1.9%)
- 20日 ○米商務省, 9月の中古住宅販売件数を発表
前月比+3.2%の季調済前年率547万件
○欧州中央銀行(ECB), 政策理事会を開催
・政策金利の据置き, 量的緩和策の現状維持を決定
・会議では量的緩和措置の延長については検討しなかったとした一方, 緩和縮小の可能性は小さいと強調
- 21日 ○平成28年第17回経済財政諮問会議を開催
「GDP統計を軸とした経済統計の改善に向けて」, 「経済・財政一体改革 - 社会保障改革 -」について議論
- 24日 ○財務省, 9月の貿易統計(速報)を発表
輸出額は自動車, 鉄鋼等が減少し, 前年比△6.9%の5兆9,684億円, 輸入額は原粗油, 液化天然ガス等が減少し, 同△16.3%の5兆4,701億円, 貿易収支は4,983億円で2か月ぶりの黒字
- 25日 ○政府, 10月の月例経済報告を発表
景気の基調判断を「景気は, このところ弱さもみられるが, 緩やかな回復基調が続いている」として据置き
- 26日 ○米商務省, 9月の新築住宅販売件数を発表
前月比+3.1%の季調済前年率59.3万件
- 27日 ○米商務省, 9月の耐久財受注を発表

(10 月 中)

<p>新規受注は前月比△0.1%、設備投資計画の先行指数とされるコア（航空機を除く）非国防資本財受注は前月比△1.2%</p> <p>28日 ○英政府統計局、2016年7-9月期のGDP（1次速報）を発表 実質GDP成長率は前期比+0.5%（年率+2.0%）となり、緩やかな回復が継続、15期連続のプラス成長</p> <p>○総務省、9月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比△0.5%と7か月連続のマイナス</p> <p>○総務省、9月の家計調査（二人以上の世帯）を発表 実質消費支出は前年比△2.1%と7か月連続の減少、季調済前月比は+2.8%と2か月ぶりの増加 基調判断は「弱い動きがみられる」として据置き</p> <p>○総務省、9月の労働力調査を発表 完全失業率（季調済）は3.0%と前月比0.1ポイント低下 雇用者数（同）は5,771万人で前年比84万人の増加、完全失業者数（原数値）は204万人となり前年比23万人の減少</p> <p>○厚生労働省、9月の一般職業紹介状況を発表 有効求人倍率（季調済）は1.38倍となり、前月比0.01ポイント上昇、現在の雇用情勢の基調判断は「着実に改善が進んでいる」として13か月連続の据置き</p> <p>○米商務省、2016年7-9月期のGDP（1次速報）を発表 実質GDP成長率は前期比年率+2.9%と前期（+1.4%）から上昇</p>	<p>○仏国立統計経済研究所、2016年7-9月期のGDP（速報）を発表 実質GDP成長率は季調済前期比+0.2%（年率+0.9%）となり、2四半期ぶりのプラス成長</p> <p>31日 ○経済産業省、9月の鉱工業指数（速報）を発表 生産は季調済前月比0.0%となり前月比横ばい、出荷は同+1.1%、在庫は同△0.4% 基調判断は「生産は緩やかな持ち直しの動きがみられる」とし、前月から据置き</p> <p>○経済産業省、9月の商業動態統計を発表 小売業販売額は前年比△1.9%で7か月連続の減少、季調済前月比は+0.0%で（前月マイナスからの横ばい） 基調判断は「一部に弱さがみられるものの横ばい圏」とし、前月から据置き</p> <p>○国土交通省、9月の建築着工統計を発表 住宅着工総戸数（原数値）は、85,622戸（前年比+10.0%）と3か月連続のプラス、季調済年率は98.4万戸（前月比+3.0%）と2か月ぶりのプラス</p> <p>○EU統計局、ユーロ圏の2016年7-9月期GDP（1次速報）を発表 実質GDP成長率は季調済前期比+0.3%（年率+1.4%）となり、緩やかな回復が継続</p> <p>東証株価指数（TOPIX）第1部（終値） 月間最高値 1,393.02（31日） 　　〃 最安値 1,330.72（3日）</p> <p>日経平均株価（終値） 月間最高値 17,446.41円（28日） 　　〃 最安値 16,598.67円（3日）</p> <p>東京外為市場（円相場、銀行間直物、対1ドル） 月間最高値 101.41円（3日） 　　〃 最安値 105.25円（28日）</p>
---	--